

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V	_____	_____	
	電 流	— A	適合ケーブル	φ8.5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	20 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 —N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を含む。	挿抜力 70 N 以下	○	—
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗：20 mΩ以下	○	—
性能	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98 m/s ² で 3方向各2時間試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ保持力	圧着結線された適合コンタクトを組み込み後、電線に引張荷重を加え測定する。	20 N以上	○	—
環境的性	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①絶縁抵抗： 5MΩ以上（高湿時） ②絶縁抵抗： 50MΩ以上（乾燥時） ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃→ 常温 時間 30 → 10～15 → 30 → 10 ～ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗： 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考 注 上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示す。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	MO. SATOH	07. 03. 26
			検 図	EJ. KUNII	07. 03. 23
			担 当	TO. HORII	07. 03. 23
			製 図	MK. SATO	07. 03. 22
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-045072-73		
HRS	製品規格表		製品名	HR22-12TPD-20PC (73)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL122-0018-1-73	△ 1/1